

1. 芦屋市環境施設課 尾川課長による説明

- 現在のパイプラインの運転状況について

メモ

- 実証実験の概要と今後の予定

メモ

2. 生ごみ減量ワークショップ～みんなの知恵を集めよう～

1. なぜ今、生ごみ減量なのか

現在、大阪府では焼却施設の老朽化や更新工事などの影響により、一部の焼却施設で処理能力が不足し、ごみ処理に大きな影響が出ています。

このような状況は、大阪府だけの問題ではありません。全国的にごみ処理施設の老朽化が進んでおり、今後は「ごみを減らすこと」がますます重要になります。

また、生ごみは燃やすごみの約 3～4 割を占めており、水分が多いため焼却時に多くのエネルギーを必要とします。

生ごみを減らすことは、

- ごみ処理費用の削減
- CO₂排出量の削減
- 焼却施設の負担軽減
- 持続可能な地域づくり

につながります。

2. 今回の目的

今回は、「正しい答え」を見つける場ではありません。

皆さんが日頃行っている工夫やアイデアを持ち寄り、お互いに学び合うことを目的としています。

「こんな方法があるのか」

「私にもできそうだ」

そんな新しい気づきを得ることを目指します。

3. ワークショップの進め方

STEP1 カードを書く(5 分)

カードを 2 種類用意します。

① 現在実践していること

例

- 水切りをしている
- 食べ切るようにしている
- 買いすぎない

② 今後やってみたいこと

例

- コンポストに挑戦
- 生ごみ処理機を使う
- 冷凍保存を工夫する



STEP2 グループで共有(10 分)

3 人 1 組でカードを紹介します。

「なるほど」と思ったことを共有してください。

STEP3 KJ 法で整理(10 分)

ファシリテーターが模造紙へ貼りながら、
似た内容ごとに整理します。

最後に

「みんなの知恵マップ」

を完成させます。

4. 今回期待する成果

今日の成果は、

「生ごみを減らす方法を一つに決めること」

ではありません。

地域の皆さんの知恵を集め、

「こんな工夫がある」

ということを共有することです。

5. 次回予告

今回集まったアイデアを基に、次回は「**私たちが明日からできること**」をテーマに、
具体的な行動計画を皆さんで考えたいと思います。

私からの提案

「地域の課題は、一人で解決するものではありません。皆さんの経験や工夫を持ち寄ること
で、新しい解決策が生まれます。今日のワークショップが、その第一歩となれば幸いです。」

参考資料1

大阪のごみ焼却場が“ほぼ満杯”

家庭などから出るごみの焼却処理が追いつかないとして、大阪、八尾、松原、守口の4市の処理を担う「大阪広域環境施設組合」(管理者＝横山英幸大阪市長)は、一時的なごみの受け入れを大阪府内の自治体に要請したことを明らかにした。

4市の家庭や事業所から出る一般廃棄物のごみは組合の6カ所の焼却工場で処理される。組合によると、設備の定期メンテナンスに加え、複数の焼却工場での設備故障が重なり、1カ月ほど前からごみの処理が追いつかなくなっている。各工場の「ピット」と呼ばれる貯留場所はほぼ満杯の状況になっているという。



ごみでピットがほぼ満杯状態の焼却工場＝大阪市住之江区（大阪広域環境施設組合提供）

4市から搬入されるごみの量が増加傾向にある一方で、今後も整備の予定が重なっており、組合だけでは処理が困難となることが想定されるため、府を通して他自治体に一時的な処理を要請することを決めた。

14日に報道陣の取材に応じた横山市長は「設備修繕や故障に加え、想定していなかった故障による炉の停止、人口増や宿泊を含めたさまざまな社会経済活動の活発化でごみが増加している」と説明。現段階では日をまたぐような収集の遅れなどといった影響はないとし「ごみの減量や分別、食品ロス(大阪の生ごみの30%)、このあたりも含めてご協力いただければと思います。ごみの収集は引き続き行っていく予定です」と呼びかけた。

私たちにできること「生ごみ3きり運動」とは

大阪市はごみ対策として、「生ごみ3きり運動」を推進しています。「3きり」とは以下の3点をすすめることです。

- ・使い切り:食べものの残部を捨てず、使い切る
- ・食べきり:食べ残さない
- ・水きり:生ごみの水分を残さずに捨てる

ごみを減らす活動は、環境省も取り組んできました。家庭から出るごみの量は減っているのですが、処理場のひっ迫対策は環境問題の解消にもつながります。一層、家庭ごみを減らす取り組みが重要になっています。

参考資料2

生ごみ減量乾燥機 バリバリキューブ ライトの使用状況報告

生ごみ減量乾燥機とは、家庭から出る生ごみに温風をあてて水分を蒸発させる家電製品です。生ごみの約80%は水分なので、乾燥させると体積が約5分の1に減り、嫌な臭いやコバエの発生を防げます。

生ごみ減量乾燥機の特徴

生ごみを乾燥させることで、日常生活や環境に次のような多くのメリットがあります。

- ・ 臭いと虫の防止

生ごみの水分と雑菌が腐敗や悪臭の原因になります。乾燥機にかけることで雑菌の繁殖を抑え、キッチンの嫌な臭いやコバエの発生を防ぎます。

- ・ ゴミ出しの負担軽減

生ごみを軽く、小さくできるため、ゴミの量そのものを減らせます。ゴミ出しの回数を減らしたり、指定ゴミ袋の節約につながります。



生ごみ乾燥機データ

														単位：g	
6月26日	6月29日	6月30日	7月2日	7月4日	7月6日	7月7日	7月9日	7月11日	7月13日	7月15日	7月17日	7月21日	7月24日	合計	1日ごみ排出量
361	318	498	371	406	303	326	317	369	289	360		360	395	4673	886
200	194	203	192	216	163	201	249	197	160	163		192	268	2598	200
161	124	295	179	190	140	125	68	172	129	197		168	127	2075	
45%	39%	59%	48%	47%	46%	38%	21%	47%	45%	55%		47%	32%	44%	23%
31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31		31	31	403	